

プレガバリンの医療経済に及ぶす効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 28 年 3 月 9 日 ～ 平成 28 年 6 月 30 日

〔研究課題〕 「開胸手術時の周術期疼痛管理における硬膜外麻酔およびプレガバリンの無作為比較試験（帝倫 13-122 号）」の医療経済分野における検討

〔研究目的〕 「開胸手術時の周術期疼痛管理における硬膜外麻酔およびプレガバリンの無作為比較試験（帝倫 13-122 号）」において、手術後の急性期におけるプレガバリンの有効性と安全性が確認されました。今回、同研究の麻酔費、痛みによる外来受診回数、術後疼痛治療薬の使用期間とその種類等を検討し医療経済分野における効果を検証します。

〔研究意義〕 プレガバリンが医療経済の分野でも有効であれば、患者さんのメリットが増すこととなります。

〔対象・研究方法〕 「開胸手術時の周術期疼痛管理における硬膜外麻酔およびプレガバリンの無作為比較試験（帝倫 13-122 号）」に登録された硬膜外麻酔群 45 名とプレガバリン群 45 名を比較検討します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部外科学講座、医療データ解析 **株式会社クリニカルスタディサポート**

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報保護のため、臨床情報は個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を記し連結可能匿名化情報として、個人情報管理者（松谷哲行）のもとで管理される。

〔その他〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究分担者： 松谷哲行 帝京大学医学部外科学講座 准教授

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7690 〕